

大学間交流協定の締結

工学研究院では、2006年度に延世大学校(大韓民国) サザンプトン大学(連合王国)と大学間交流協定を、また、国立台湾大学工学院(台湾)と部局間交流協定を新たに締結しました。

延世大学校 (大韓民国 Yonsei University)

2006年10月17日に研究者および教職員の交流、学部学生および大学院生の交流、共同研究、学術情報・資料および刊行物の交換を目的として交流協定が締結されました。

延世大学校は、大韓民国ソウル市にキャンパスをもつ1885年に設立された大韓民国で最も歴史の古い私立大学です。延世大学校となったのは1957年です。教員数は1800人、学生数は学部生25000人、大学院生12000人です。当大学校の象徴は鷲です(写真参照)。

田村明弘教授の指導のもとに、数年にわたり本学の大学院生が延世大学校を訪問して研究発表会を開いています。毎年大学院学生約7名ずつを交互に交換し英語による研究発表会を開催しています。2007年度は横浜国立大学で開催する予定です。



サザンプトン大学 (連合王国 University of Southampton)

2006年11月9日に、研究者および教職員の交流、学部学生および大学院生の交流、共同研究、学術情報・資料および刊行物の交換を目的として交流協定が締結されました。

サザンプトン大学は、連合王国サザンプトン市にある、1952年設立の同国の上位10校に入る国立大学です。教員数は4400人、学生数は学部生が17000人、大学院生が6000人で、100以上の国から2000人の留学生がいます。欧州における海洋学研究の中心となっている附属海洋研究所をはじめ、高度な研究施設・組織を有しています。同大との学術交流は荒井誠教授による2004年同大訪問から始まります。

協定締結後の交流としては、教員の相互訪問による特別講義等の開催、大学院生の相互派遣、共同指導(特にPEDコース学生のインターンシップ)、共同研究、研究者の短期・長期派遣が行われる予定です。



国立台湾大学工学院 (台湾 College of Engineering, National Taiwan University)

2006年12月8日に、研究者および教職員の交流、大学院生の交流、共同研究、学術情報・資料および刊行物の交換を目的として部局間交流協定が締結されました。

国立台湾大学は、1928年に日本の帝国大学として設立され、第二次大戦後は台湾の国立総合大学として発展しました。特に工学院は11学科11研究施設・センターを有する大規模部局です。大学全体では教員数1800人、学生数は学部生が18000人、大学院生が13000人です。

交流実績としては、同大工学院の李教授が本学に数回来学しており、2005年も共同研究のため角洋一教授のもとに3ヶ月滞在しています。

研究者交流および共同研究については、溶接構造および複合材の強度に関して事業計画を立案中です。また、学生の交流は、大学院生を主な対象として研究交流を進める予定です。

